

災 害 救 護 速 報

平成 26 年 10 月 1 日 (水) 15:00 現在
事業局 救護・福祉部 救護課
(Tel. 03-3437-7084)

御嶽山噴火災害に係る日本赤十字社の対応について (4)

1 火山活動の状況 (気象庁発表: 9月 28 日)

- 9月 27 日 11 時 41 分頃から火山性微動が発生し始め、同 11 時 52 分頃に噴火が発生した。気象庁は噴火警戒レベル 3 (入山規制) を発表し、火口から 4 キロメートル以内に立ち入らないように呼びかけている。噴火は現在も継続している。
- 山頂火口から 4 キロメートル程度の範囲では、噴火に伴う大きな噴石の飛散等に警戒が必要。

2 被害の状況 (消防庁: 10月 1 日 09:00 現在)

都道府県名	人的被害 (名)				住家被害 (棟)				
	死者	行方不明	重傷者 (中等症 者含む)	軽症者	全壊	半壊	一部 損壊	床上 浸水	床下 浸水
長野県	<u>12</u>	確認中	27	32	確認中				
岐阜県	0	0	2	8					
合 計	<u>12</u>		29	40					

上記とは別に長野県内にて心肺停止が 24 名。

3 災害救助法の適用 (内閣府: 9月 27 日現在)

現在以下の地域において、多数の者が生命又は身体に危害を受け、又は受ける恐れがあることから、災害救助法が適用されています。

- 長野県木曽郡木曽町、木曽郡王滝村 (平成 26 年 9 月 27 日適用)

4 日本赤十字社の対応

10 月 1 日 12 時 00 分現在で、日本赤十字社各都道府県支部・施設における被害は確認されていません。

(1) 長野県支部

9月 27 日

13:58 支部へ職員 8 人参集。

- 15:10 長野県支部災害対策本部を設置。
- 16:57 長野県支部救護班（長野赤十字病院（日赤DMA T））1班が信州大学医学部付属病院へ向けて出発。
- 17:10 長野県支部救護班（諏訪赤十字病院（日赤DMA T））1班が県立木曽病院へ向けて出発。
- 18:07 王滝村公民館へ毛布80枚、安眠セット15セットを搬送。
木曽町三岳交流促進センターへ毛布300枚、安眠セット20セットを搬送。
- 18:45 長野赤十字病院の医師1名が災害医療コーディネーターとして、また同院医師1名及び看護師2名が同コーディネーターの補佐として、長野県災害医療本部にて活動を開始。
- 18:52 御嶽ロープウェイ御岳口へ毛布50枚搬送。

9月28日

- 12:55 県災害医療対策本部から長野県支部救護班（安曇野赤十字病院）へ派遣依頼あり。
- 13:34 同班が県立木曽病院へ出発。
- 14:20 長野県支部こころのケアチーム（諏訪赤十字病院）が県立木曽病院へ向けて出発。
- 15:07 長野県支部救護班（安曇野赤十字病院）が県立木曽病院へ到着し、院内の中等症患者の診療を開始。

9月29日

- 08:50 長野県支部災害対策本部が長野赤十字病院の医師1名を日赤災害医療コーディネーターとして県立木曽病院へ派遣することを決める。
- 10:00 長野県支部救護班（下伊那赤十字病院）1班が県立木曽病院へ出発。
- 11:40 同県支部救護班（下伊那赤十字病院、飯山赤十字病院、長野赤十字病院）合計3班が県立木曽病院へ到着。
- 14:40 県立木曽病院内の災害対策本部にて医療ミーティングが行われる。
(日赤の救護班5班は木曽町旧上田小学校にてこころのケア活動等を行うことが決定。)
- 16:00 長野県支部現地災害対策本部を木曽町旧上田小学校に設置。
- 18:00 長野県支部現地災害対策本部にて救護班が下記の予定で活動することが決まる。

9月29日 18:00～21:00 長野県支部救護班（諏訪赤十字病院）

21:00～24:00 長野県支部救護班（安曇野赤十字病院）

9月30日 00:00～08:00 長野県支部救護班（長野赤十字病院）
08:00～11:00 長野県支部救護班（諏訪、安曇野、飯山、
下伊那赤十字病院）
11:00～14:00 長野県支部救護班（長野赤十字病院）
愛知県支部救護班（名古屋第二赤十字病院）
14:00～17:00 長野県支部救護班（飯山、下伊那赤十字病
院）

9月30日

08:00 長野県支部現地災害対策本部ミーティングを行う。
10:15 長野県支部救護班（諏訪、安曇野赤十字病院）2班が撤収。
13:40 本社職員2名、長野県災害医療コーディネーター1名、長野県支部職員
1名、愛知県支部救護班（名古屋第二赤十字病院）医師1名が木曽町役
場災害対策本部会議に出席する。
14:40 同会議終了。（今後の日赤の活動内容は安否不明者の家族支援とし、木
曾保健所の保健師1名と日赤救護班の合同チームで対応することが決
まる。）
17:10 長野県支部現地災害対策本部を木曾合同庁舎1階へ移動。
18:15 長野県支部現地災害対策本部にてこころのケア活動を下記の予定にて行
うことと決める。
杭の原公民館
10月1日 08:00まで（下伊那赤十字病院看護師1名、主事1名）
農業者トレーニングセンター
10月1日 12:00まで（下伊那赤十字病院看護師2名、主事1名）
中央公民館
10月1日 12:00まで（長野赤十字病院看護師1名、主事1名）
木曽町役場
10月1日 12:00まで（長野赤十字病院看護師1名、主事1名）

（2）岐阜県支部

9月27日

15:00 支部職員が参集。
20:10 岐阜県支部救護班（高山赤十字病院（日赤DMA T））1班が濁河温泉へ
向け出発。
22:50 同救護班が到着。

9月 28 日

- 04 : 30 岐阜県支部救護班（高山赤十字病院（日赤DMAT））の医師1名、看護師1名が山岳警備隊、下呂市職員とともに岐阜県側登山口より山小屋へ向かう。
- 06 : 15 同医師と看護師が「五の池小屋」へ到着し、登山客と合流後下山。
- 10 : 00 県警にて搬送された重傷者1名を高山赤十字病院が受け入れる。
- 12 : 10 防災にて搬送された重症患者2名を高山赤十字病院が受け入れる。
- 12 : 30 同班の診療活動が終了し、現地を撤収する。
- 16 : 00 同班が高山赤十字病院に帰着。
- 16 : 25 IFRC（国際赤十字赤新月社連盟）より本社へ、現地で活動した岐阜県支部救護班医師のコメントが欲しい旨の依頼があり、本社企画広報室にてインタビューを実施、IFRCのホームページに掲載（9月29日付）。

（3）愛知県支部

9月 29 日

- 11 : 50 愛知県支部救護班（名古屋第二赤十字病院）1班及び愛知県支部連絡調整員2名が県立木曽病院へ向けて出発。
- 14 : 36 同班が同病院へ到着。

（4）第2ブロック内支部

9月 27 日

- 19 : 45 群馬県支部救護班（前橋赤十字病院（日赤DMAT））1班が信州大学医学部付属病院へ向けて出発。

9月 28 日

- 01 : 00 新潟県支部救護班（長岡赤十字病院（日赤DMAT））1班、埼玉県支部救護班（さいたま赤十字病院（日赤DMAT））1班が信州大学医学部付属病院へ出発。
- 04 : 00 山梨県支部救護班（山梨赤十字病院（日赤DMAT））1班が信州大学病院へ出発。
- 07 : 00 同班が信州大学病院へ到着後、県立木曽病院へ移動し救護活動を行う。

9月 29 日

- 09 : 00 山梨県支部救護班（山梨赤十字病院（日赤DMAT））が木曽病院にて待機。
- 13 : 00 同班撤収。
- 17 : 00 同班が山梨赤十字病院へ帰着。

(5) 本社

9月 28 日

09:00 本社職員 3名が参集し、情報収集を行う。

9月 30 日

06:45 本社職員 2名が現状把握のため長野県木曽町へ向けて出発。

10:24 同職員が長野県支部現地災害対策本部のある旧上田小学校に到着。

13:40 同職員 2名、長野県災害医療コーディネーター 1名、長野県支部職員 1名、愛知県支部救護班（名古屋第二赤十字病院）医師 1名が木曽町役場災害対策本部会議に出席する。（再掲）

19:05 同職員が本社に帰着。

5 救援物資搬送

	毛布	安眠セット
王滝村公民館	80 枚	15 セット
木曽町三岳交流促進センター	50 枚	55 セット
御嶽ロープウェー御岳口	50 枚	
木曽町 町組	60 枚	15 セット
木曽町 中部	60 枚	15 セット
木曽町 杭ノ原	60 枚	15 セット
木曽町 農業者トレーニングセンター	60 枚	25 セット
木曽町 旧上田小学校	50 枚	10 セット
計	470 枚	150 セット